

自由民主党 森山 裕 様
公明党 大口 善徳 様

昨日、陸上自衛隊イラク派遣部隊の日報が、陸自内部で1年以上も隠蔽されていたことが明らかになった。実力組織である自衛隊が政府にも国会にも隠してきたこと自体がシビリアンコントロールを踏みにじる重大問題である。

政府がイラク日報について「ない」と答弁してきたことの責任は極めて重大である。昨年、南スーダンPKO日報の隠蔽問題で特別監察がおこなわれていた時期に陸幕はその存在を把握しながら、政府に報告しなかった。政府の探索指示に背くものであり、政府が自衛隊を掌握し得ていないことを示す以外のなにものでもない。こうしたことを許せば、実力組織の暴走につながりかねない。

国会と国民を一年有余にわたって欺き続けたことは極めて重大である。自民党の二階俊博幹事長は、「行政は、国民の信頼を失えば何もできなくなってしまう」と述べ、公明党の山口那津男代表は、「国会に『あるものをない』と行って嘘をついていた。国民をだますに等しい行為だ」と述べている。

この問題以外にも財務省の文書隠ぺい・改ざん問題、厚生労働省のデータ問題、そして東京労働局長の暴言など、立法府をないがしろにする政府の姿勢は言語道断である。

立法府として与野党を超えて、これらの問題の全容解明は、国民の負託をうけた国会の責務であり、最優先すべき問題である。ことの重大性の認識を議論し共有し、国会の責務をはたす方策を検討するため、与野党国会対策委員長会談の開催を重ねて要求するものである。

2018年4月5日

立憲民主党 辻元 清美
希望の党 泉 健太
民進党 平野 博文
日本共産党 穀田 恵二
自由党 玉城デニー
社会民主党 照屋 寛徳